

海軍公報

第千五百七十八號

海軍大臣官房

昭和七年五月十二日(木)

○通牒

教育第二一八號

昭和七年五月九日

海軍省 教育局

海軍各廳御中

思想研究資料(第七回)豫約ノ件通知

當局發行ノ思想研究資料部内要望ノ向ニ實費ヲ以テ配付可致候條左記諸項御了知ノ上申込相成度

記

- 一、冊子 一冊三、四十頁ニシテ總頁數約四百頁
昭和七年十一月末日迄ニ全部發行送付ノ豫定
- 二、實費及送料 五拾錢
- 三、配付範圍 部内准士官以上及高等文官
- 四、申込 各廳毎ニ要望者員數取纏メ官氏名
ト共ニ御通知ノ上代金前納相成度
- 五、申込到達期限 昭和七年五月三十一日
- 六、教育局口座番號 東京八一四三二番

○雜款

○正誤

昭和七年度海軍省所管歳入歳出科目表正誤

頁	行	誤	正
一五	一一	大正十四年達第百四十五號	大正十五年達第十九號
三一	九	入校旅費	入校旅費共
三六	一一	大正十四年達第百四十五號	大正十五年達第十九號
七〇	一二	航空機設計試製實驗研究機關治療所	航空廠
九七	一二	給俸	俸給

本月二日令達欄官房第一四四六號ノ三臨時部、營繕費、新營費中科目「舞體要港部」ハ「舞鶴要港部」ノ誤

海軍公報 第千五百七十八號 昭和七年五月十二日

四六五

0523

○艦船所在

▲印ハハホ
指定ヲ要セズ

○五月十二日午前十時調

【横須賀】

日進▲、山城▲、五十鈴▲、駒橋、長門、赤城、木曾、榛名、愛宕、口金剛▲、▽鳳翔、▽沖風、峯風、矢風、澤風、▽潮、曙、隴、▽朝霧、夕霧、天霧、▽伊四、伊三、▽伊二、掃六、富士、尻矢、洲崎、鳴戸

(高雄)、(龍驤)

【長浦】

巖島

桑、檣、樺、▽神風、野風、波風、沼風、▽羽風、太刀風、帆風、秋風、▽朝風、春風、松風、旗風、狭霧

呂二〇、呂二一、呂二二、▽呂五五、呂五四、呂五六、▽呂五九、呂五七、呂五八、▽伊二四、伊二三、伊一、▽掃五、掃一、掃二、掃三、掃四

【浦賀】(雷)

【作業地】▽島風、灘風、汐風、夕風

【吳】

扶桑▲、比叡、加古、矢矧、古鷹、鬼怒、韓崎、大井、白鷺、勝力、▽日向、伊勢、大泊

▽那珂、阿武隈、▽妙高、那智▲、▽神通、▽長鯨、春日

江風、谷風、天津風、時津風、磯風、濱風、▽白雪、初雪、深雪、▽叢雲、薄雲、自雲、▽敷波▲、綾波▲、浦波▲、▽東雲▲、吹雪▲、磯波▲

呂一四、呂一五、呂一六、呂一七、呂一八、呂一九、▽呂五一、呂五三、▽呂二七、呂二六、呂二八、▽伊二一、伊二二、▽伊五二、伊五一、▽伊五七、伊五六、伊五八、▽伊五五、伊五三、伊五四

掃七、掃八、掃九、掃一〇、劍崎、石廊、攝津、朝日、間宮、(伊六五)、(八重山)

【大阪】(龍)

【神戸】(摩耶)、(伊六七)、(伊五)

【徳山】

襟裳

【由宇】

夕張

【舞鶴】

吾妻、多摩

▽夕顔、葵、菊、卯月、▽夕張

▽卓月、文月、長月、水無月、▽三日月、菊月、望月、夕月、▽彌生、如月、睦月、卯月

0524

【佐世保】(漣) 名取、陸奥、衣笠、長良、川内、青葉、霧島、由良、迅鯨、加賀、足柄、羽黒、龍田

呂夕風、朝風、追風、疾風、楡、栗、梅

呂二三、呂二四、呂二五、呂六四、呂六三、呂六八、呂三〇、呂二九、呂三二、呂六〇、呂六一、呂六二、呂六七、呂六五、呂六六、呂六四、伊六一、伊六二、伊六三、伊五九、伊六〇

敷島、知床、佐多、鶴見、早鞆

(伊六六)、(曉)

【長崎】(島海) 嶮峨

葦

【鎮海】區蓮、蓼、蓬

【旅順】區雲、淀

區芙蓉、刈萱、朝顔

【海州沖】區球磨

區櫻、柳、桃、檜、藤、柿

區櫛、柳、桃、檜、藤、柿

【公大沖】薄

【吳淞】區萩、蕩

【鎮江】熱海、堅田

【南京】對馬

【九江】浦風

【大冶】宇治

【漢口】天龍、鳥羽

【長沙】伏見、二見

【宜昌】保津、比良

【馬尾】菱

【廈門】北

【汕頭】北

【廣東】梨

【航海中】竹

神威 (四月二十五日桑港發—徳山へ)

▷安宅 (一日漢口發—上海へ)

膠州 (八日「ヤルト」發—作業地へ)

能登呂 (十日上海發—佐世保へ)

▷淺間、磐手 (七日「マルホルン」發—「ホバート」へ)

勢多 (十一日宜昌發—漢口へ)

區早苗、若竹、吳竹、早蕨 (十一日上海發—吳へ)

區櫃 (十一日馬尾發—馬公へ)

隱戸 (十一日馬公發—佐世保へ)

大和 (十二日雄基發—作業地へ)

青島 (十二日佐世保發—長崎へ)

野島 (十二日上海發—佐世保へ)

(部内限一頁)

0525

海軍公報

第千五百七十九號

昭和七年五月十三日(金)

海軍大臣官房

○辭令

海軍技術研究所附海軍技手 重中 芳平
佐世保海軍工廠勤務ヲ命ス(十四日海軍省)

海軍艦政本部勤務海軍技手 西村 盛藏
兼海軍艦政本部造船監督助手ヲ命ス(十五日同)

海軍少佐 勝野 實
第一課勤務ヲ命ス(十四日海軍省教育局)

海軍造兵少佐 堀 光一
第一部第一課勤務ヲ命ス

海軍技師 江角 金市
第一部第一課附兼第一部第二課附第五部附ヲ命ス
(以上十四日海軍艦政本部)

○雜款

○海軍艦政本部監督官異動

東京	出張	職	官	氏	名
技術研究所所員		造兵監督官兼海軍	海軍中佐	片岡	太司郎

海軍公報 第千五百七十九號 昭和七年五月十三日

四六九

0526

○艦船所在

▲印ハ「ハホ」指定ヲ要セズ

○五月十三日午前十時調

【横須賀】

日進▲、山城▲、五十鈴▲、駒橋、長門、赤城、木曾、榛名、愛宕、口金剛▲、▽鳳翔、△沖風、峯風、矢風、澤風、△潮、曙、隴、△朝霧、夕霧、天霧、狹霧、△伊四、伊三、△伊二、掃六

富士、尻矢、洲崎、鳴戸

(高雄)、(龍驤)

【長浦】

嚴島

桑、檳、櫻、椿、△神風、野風、波風、沼風、△羽風、太刀風、帆風、秋風、△朝風、春風、松風、旗風

呂二〇、呂二一、呂二二、△呂五五、呂五四、呂五六、△呂五九、呂五七、呂五八、△伊二四、伊二三、伊一、△掃五、掃一、掃二、掃三、掃四

【浦賀】

(雷)

【作業地】△島風、灘風、汐風、夕風

大泊

【吳】扶桑▲、比叡、加古、矢矧、古鷹、鬼怒、韓崎、大井、▽日向、伊勢、▽那珂、

阿武隈、△妙高、那智▲、▽神通、▽長鯨、江風、谷風、天津風、時津風、磯風、濱風、△早苗、若竹、吳竹、早蕨、△白雪、初雪、深雪、△叢雲、薄雲、白雲、△敷波▲、綾波▲、浦波▲、△東雲▲、吹雪▲、磯波▲、呂一四、呂一五、呂一六、呂一七、呂一八、呂一九、△呂五一、呂五三、△呂二七、呂二六、呂二八、△伊二一、伊二二、△伊五二、伊五一、△伊五七、伊五六、伊五八、△伊五五、伊五三、伊五四

掃七、掃八、掃九、掃一〇

劍崎、石廊、攝津、朝日、問宮

(伊六五)、(八重山)

【大阪】

(電)

【神戸】

(摩耶)、(伊六七)、(伊五)

【山字】

△夕張、△草月、文月、長月、水無月、△三日月、菊月、望月、夕月、△彌生、如月、睦月、卯月

【舞鶴】

吾妻、多摩

△夕顔、葵、菊、呂三一

【佐世保】

名取▲、陸奥、衣笠、長良、川内、青葉、(漣)

0527

<p>霧島、由良、▽迅鯨、加賀、足柄▲、羽黒、龍田</p> <p>▽夕風、朝風、追風、疾風、楡、栗▲、梅▲</p> <p>呂二三、呂二四、呂二五、呂六四、呂六三、呂六八、呂三〇、呂二九、呂三二、呂六〇、呂六一、呂六二、呂六七、呂六五、呂六六、伊六四、伊六一、伊六二、伊六三、伊五九、伊六〇</p> <p>敷島▲、知床、佐多、鶴見、早鞆、能登呂、襟裳</p> <p>(伊六六)、(曉)</p>	<p>【長崎】青島</p> <p>(鳥海)</p> <p>【馬公】嗟峨</p> <p>▽樞、葦</p> <p>【鎮海】▽蓮、蓼、蓬</p> <p>【旅順】芙蓉、劉壹、朝顔</p> <p>【葫蘆島】淀</p> <p>【海州沖】▽球磨</p> <p>【上海】▽出雲、▽安宅、常磐、熱海、平戸</p> <p>▽櫻、柳、桃、檜、▽萩、蕙、▽柿</p> <p>室戸</p> <p>【吳淞】藤、薄</p>	<p>【鎮江】堅山</p> <p>【南京】對馬</p> <p>【九江】浦風</p> <p>【大冶】宇治</p> <p>【漢口】隅田</p> <p>【長沙】天龍、鳥羽</p> <p>【宜昌】伏見、二見</p> <p>【馬尾】保津、比良</p> <p>【廈門】北</p> <p>【汕頭】董</p> <p>【廣東】竹</p> <p>【航海中】梨</p> <p>神威 (四月二十五日桑港發—徳山へ)</p> <p>膠州 (八日「ヤルト」發—作業地へ)</p> <p>▽淺間、磐手 (七日「メルホルン」發—「ホバート」へ)</p> <p>勢多 (十一日宜昌發—漢口へ)</p> <p>隱戸 (十一日馬公發—佐世保へ)</p> <p>春日 (十二日吳發—横須賀へ)</p> <p>勝力 (十二日吳發—廣島灣へ)</p> <p>大和 (十二日雄基發—作業地へ)</p> <p>野島 (十二日上海發—佐世保へ)</p> <p>白鰐 (十三日宇品發—廣島灣へ)</p>
---	--	---

(本内限一頁、同號外二頁)

0528

海軍公報

第千五百八十號

昭和七年五月十四日(土)
海軍大臣官房

○通牒

官房第一八〇一號

昭和七年五月十四日

海軍省 副官

各廳長 殿

和蘭國艦首旗制式變更並ニ同國國防大臣旗制定ノ件通牒

和蘭國ニ於テハ本年四月三十日以降從來ノ艦首旗ヲ廢シ新ニ別圖制式ノ艦首旗並ニ國防大臣旗ヲ制定シタル趣在和蘭國松永公使ヨリ報告アリタル旨外務次官ヨリ通牒有之候條御了知相成度

(別圖一葉添)

○辭令

故海軍機關中佐脇太良妻 脇 道子

昭和七年海軍省告示第二號ニ依リ特ニ金參千四百圓

ヲ賜フ(五月海軍省)

○雜款

○軍艦大井行動豫定

地名 着

吳	宇	三	小	竹	笠	宇	吳
品	田	尻	出	原	岡	野	野
五月十六日	十八日	二十日	二十二日	二十三日	二十五日	二十九日	二十九日
發	發	發	發	發	發	發	發

○郵便物發送先

軍艦大井宛	五月十五日迄ニ到達見込ノモノハ	吳
同	五月十七日迄ニ	宇
同	五月十九日迄ニ	三
同	五月二十二日迄ニ	廣島縣竹原

海軍公報 第千五百八十號 昭和七年五月十四日

四七三

0529

同 二十四日迄ニ 同 岡山縣笠岡
 同 二十八日迄ニ 同 宇野
 其ノ後ハ 吳野

○着任、退應

新 海軍省軍務局長 海軍少將 寺島 健 五月三日着任
 舊 海軍省軍務局長 海軍少將 豊田貞次郎 五月三日退應

○出發

佛國 海軍機關大尉 石田 太郎 五月十八日東京發
 駐在 同 五月十九日神戸發 伏見丸

米國 同 松尾 祐一 五月二十四日東京發
 駐在 同 五月二十四日横濱發 春洋丸

豫備役海軍主計中佐從五位勳四等中村乾二昨十三
 日東京市外長崎町一四八三自宅ニ於テ卒去、明十
 五日午後三時ヨリ同四時迄市外品川町北品川宿東
 海寺内春雨庵ニ於テ告別式執行

0530

○艦船所在

▲印ハ、ハホセ
指定ヲ要セズ

○五月十四日午前十時調

【横須賀】

日進▲、山城▲、五十鈴▲、駒橋、長門、
赤城、木曾、榛名、愛宕、口金剛▲、▽鳳翔
▽沖風、峯風、矢風、澤風、▽潮、曙、朧、
▽朝霧、夕霧、天霧、狹霧
▽伊四、伊三、▽伊二
掃六

富士、尻矢、洲崎、鴨戸
(高雄)、(龍驤)

【長浦】

桑、榎、椿、▽神風、野風、波風、沼風、
▽羽風、太刀風、帆風、秋風、▽朝風、春風、
松風、旗風

呂二〇、呂二一、呂二二、▽呂五五、
呂五四、呂五六、▽呂五九、呂五七、
呂五八、▽伊二四、伊二三、伊一
▽掃五、掃一、掃二、掃三、掃四

【浦賀】(雷)

▽島風、灘風、汐風、夕風

【作業地】

大泊

【吳】 扶桑▲、比叡、加古、矢矧、古鷹、鬼怒、
韓崎、大井、▽日向、伊勢、▽那珂、
阿武隈、▽夕張、▽妙高、那智▲、▽神通、

▽長鯨

江風、谷風、天津風、時津風、磯風、濱風、
▽早苗、若竹、吳竹、早蕨、▽白雪、初雪、
深雪、▽叢雲、蕨雲、白雲、▽早月、
文月、長月、水無月、▽三日月、菊月、
望月、夕月、▽彌生、如月、陸月、卯月、
▽敷波▲、綾波▲、浦波▲、▽東雲▲、吹雪▲、
磯波▲

呂一四、呂一五、呂一六、呂一七、
呂一八、呂一九、▽呂五一、呂五三、
▽呂二七、呂二六、呂二八、▽伊二一、
伊二三、▽伊五三、伊五一、▽伊五七、
伊五六、伊五八、▽伊五五、伊五三、
伊五四

掃七、掃八、掃九、掃一〇
劍崎、石廊、攝津、朝日、間宮

(伊六五)、(八重山)

【大阪】

(電)

【神戶】

(摩耶)、(伊六七)、(伊五)

【舞鶴】

吾妻、多摩

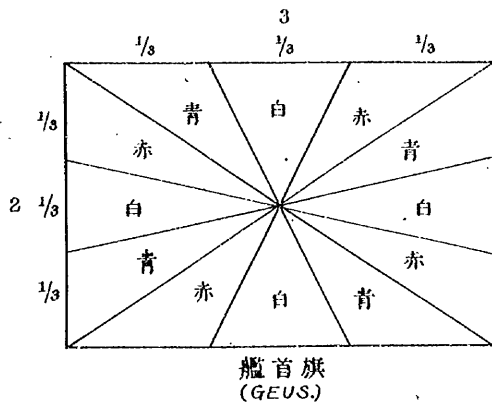
▽夕顔、葵、菊

【佐世保】

(漣)

名取▲、陸奥、衣笠、長良、川内、青葉、
霧島、由良、▽迅鯨、加賀、足柄▲、羽黒

0531



昭和七年五月十四日公報附圖

0533

海軍公報

第千五百八十一號

昭和七年五月十六日(月)

海軍大臣官房

○令達

官房第一八一二號

海軍砲術學校ニ入學中ノ左記土耳其國海軍學生教程修了ノ上本年六月一日海軍水雷學校及海軍通信學校ニ入學セシム

昭和七年五月十五日

海軍大臣

記

土耳其國海軍大尉 シエビケット、ジャビット

○辭令

舞鶴要港部附兼海軍機關學校附

海軍技手 百木 健

海軍艦政本部勤務兼造船監督助手ヲ命ス

海軍技術研究所附同 落合 新作

海軍艦政本部附ヲ命ス

舞鶴要港部附ヲ命ス

同 鈴木 惠吉

海軍艦政本部勤務兼造船監督助手

同 上野 登

吳海軍工廠附ヲ命ス(以上^{海軍省}海軍省)

海軍技手 石渡 林藏

技術部勤務ヲ命ス(海軍航空本部)

○雜款

○電話架設

海軍軍令部參謀海軍大佐南雲忠一宅(荏原郡新井宿道免一八四五)ニ左ノ通電話架設セリ

大森 三二六三番

○移轉

海軍省副官兼海軍大臣秘書官海軍中佐小林謙五八一昨十四日左記ニ移轉セリ

記

赤坂區青山高樹町十二番地七號

海軍公報 第千五百八十一號

昭和七年五月十六日

四七七

0534

海軍公報 第千五百八十一號 昭和七年五月十六日

四七八

○電話番號變更
海軍省副官兼海軍大臣秘書官海軍少佐矢牧章(麴町區
霞ヶ關二ノ一官舎)電話番號左ノ通變更セリ
銀座 一二七二番

0535

○艦船所在

指定ヲ要セズ

○五月十六日午前十時調

【横須賀】

日進、山城、五十鈴、駒橋、長門、赤城、木曾、榛名、春日、愛宕、口金剛

▷鳳翔

▷沖風、峯風、矢風、澤風、▷潮、曙、朧

▷朝霧、夕霧、天霧、狹霧

▷伊四、伊三、▷伊二

掃六

富士、尻矢、洲崎、鳴戸

(高雄)、(龍驤)

【長浦】

桑、檳、樺、▷神風、野風、波風、沼風、▷羽風、太刀風、帆風、秋風、▷朝風、春風、松風、旗風

呂二〇、呂二二、呂二二、▷呂五五、

呂五四、呂五六、▷呂五九、呂五七、

呂五八、▷伊二四、伊二三、伊一

▷掃五、掃一、掃二、掃三、掃四

▷雷

▷島風、灘風、沙風、夕風

▷大泊

▷吳

扶桑、比叡、加古、矢矧、古鷹、鬼怒、

韓崎、大井、勝力、自應、▷日向、伊勢、

▷那珂、阿武隈、▷妙高、那智、▷神通、▷長鯨、嚴島

▷江風、谷風、天津風、時津風、磯風、濱風、

▷早苗、若竹、吳竹、早蕨、▷白雪、初雪、

深雪、▷叢雲、薄雲、白雲、▷敷波、

綾波、▷浦波、▷東雲、吹雪、▷磯波

▷呂一四、▷呂一五、▷呂一六、▷呂一七、

▷呂一八、▷呂一九、▷呂二一、▷呂二三、

▷呂二七、▷呂二六、▷呂二八、▷伊二一、

▷伊二二、▷伊五三、▷伊五一、▷伊五七、

▷伊五六、▷伊五八、▷伊五五、▷伊五三、

▷伊五四

▷掃七、▷掃八、▷掃九、掃一〇

▷劍崎、石廊、攝津、朝日、間宮

(伊六五)、(八重山)

▷大坂

(電)

▷神戶

(摩耶)、(伊六七)、(伊五)

▷安下庄

▷望月

▷佐伯

▷夕張

▷舞鶴

▷吾妻、多摩

▷夕顔、葵、菊

▷呂三一

▷呂三二

0536

【佐世保】

名取、陸奥、衣笠、長良、川内、青葉、霧島、由良、▽迅鯨、加賀、足柄、羽黒

▽夕風、朝風、追風、疾風、▽柿、楡、栗、梅

▽呂二三、呂二四、呂二五、▽呂六四、呂六三、呂六八、▽呂三〇、呂二九、呂三二、▽呂六〇、呂六一、呂六二、▽呂六七、呂六五、呂六六、▽伊六四、伊六一、伊六二、▽伊六三、伊五九、伊六〇

伊六〇

伊六一、伊六二、▽伊六三、伊五九、伊六〇

伊六一、伊六二、▽伊六三、伊五九、伊六〇

伊六一、伊六二、▽伊六三、伊五九、伊六〇

伊六一、伊六二、▽伊六三、伊五九、伊六〇

伊六一、伊六二、▽伊六三、伊五九、伊六〇

伊六一、伊六二、▽伊六三、伊五九、伊六〇

伊六一、伊六二、▽伊六三、伊五九、伊六〇

伊六一、伊六二、▽伊六三、伊五九、伊六〇

伊六一、伊六二、▽伊六三、伊五九、伊六〇

伊六一、伊六二、▽伊六三、伊五九、伊六〇

伊六一、伊六二、▽伊六三、伊五九、伊六〇

伊六一、伊六二、▽伊六三、伊五九、伊六〇

伊六一、伊六二、▽伊六三、伊五九、伊六〇

伊六一、伊六二、▽伊六三、伊五九、伊六〇

伊六一、伊六二、▽伊六三、伊五九、伊六〇

伊六一、伊六二、▽伊六三、伊五九、伊六〇

伊六一、伊六二、▽伊六三、伊五九、伊六〇

伊六一、伊六二、▽伊六三、伊五九、伊六〇

【九江】

浦風、宇治

【大湊】

隅田

【漢口】

天龍、鳥羽、勢多

【長沙】

伏見、二見

【宜昌】

保津、比良

【馬尾】

▽菱

【廈門】

北上

【汕頭】

▽樞、竹

【廣東】

梨

【海軍中】

▽淺間、磐手

【航海中】

▽淺間、磐手

【航海中】

▽淺間、磐手

【航海中】

▽淺間、磐手

【航海中】

▽淺間、磐手

【航海中】

▽淺間、磐手

【航海中】

▽淺間、磐手

【航海中】

▽淺間、磐手

【長崎】(鳥海)

【馬公】嵯峨、葦、董

【旅順】八雲、芙蓉、刈萱、朝顔

【葫蘆島】淀

【海州沖】▽球磨

【上海】▽出雲、▽安宅、常磐、熱海、平戸、龍田

▽櫻、柳、桃、檜、萩、葛

室戸

【吳淞】藤、薄

【鎮江】堅田

【南京】對馬

(部内限二頁)

0537

海軍公報

第千五百八十二號

海軍大臣官房

昭和七年五月十七日(火)

○令達

官房第九九號ノ五

海軍購買名簿中左ノ通改正ス

昭和七年五月十七日

海軍大臣

一 地金、礫石類第一六項中株式會社日本製鋼所ノ行ヲ削ル

○通牒

昭和七年五月十七日

海軍軍事普及委員會幹事

各廳長殿

海軍記念日用掛圖ニ關スル件照會

本年度海軍記念日用掛圖希望者ニ對シ増刷頒布ノ計畫有之候條左記御承知ノ上希望ノ向ハ各廳毎ニ取纏メ本

會へ御通知相成度

記

一、代價

日本海海戰(午後三時過)

(三笠艦橋)

同

(上海事變)

各一枚 二十七錢

送料ヲ含マズ

二、送料

十枚迄

二十錢

十枚以上

一枚ニ付二錢ノ割

二百枚以上

送料不要

三、申込期限

六月十日

四、送金

代金ハ現品着ノ上各廳毎ニ取纏メ東京市麴町區内

幸町一ノ六帝國海軍社宛送付ノコト

○雜款

海軍公報 第千五百八十二號 昭和七年五月十七日

四八一

0538

○司令驅逐艦變更
第二十六驅逐隊司令ハ昨十六日司令驅逐艦ヲ柿ヨリ栗
ニ變更セリ

○特務艦早鞆行動豫定

地名 着

發

佐世保

五月二十三日

旅順 五月二十六日

二十八日

佐世保 三十一日

○特務艦野島行動豫定變更(五月十日)

地名 着

發

佐世保

五月十六日

横須賀 五月十九日

二十一日

佐世保 二十四日

二十六日

吳 二十七日

二十九日

青島 六月一日

六月三日

旅順 六月四日

六月六日

佐世保 六月九日

○電話架設
海軍航空本部技術部長海軍少將山本五十六宅(神奈川
縣鎌倉町材木座上河原一四三五)へ左ノ通電話架設セリ
鎌倉 七四七番

○改姓

海軍機關中尉伊藤正則ハ高橋ト改姓ノ旨本月十一日届
出デタリ

0539

(漣)

【佐世保】

名取、陸奥、衣笠、長良、川内、青葉、霧島、由良、▽迅鯨、加賀、足柄、羽黒

▽夕風、朝風、追風、疾風、▽栗、柿、楡、梅

▽呂三三、呂二四、呂二五、▽呂六四、

▽呂六三、▽呂六八、▽呂三〇、▽呂二九、

▽呂三七、▽呂六〇、▽呂六一、▽呂六二、

▽呂六七、▽呂六五、▽呂六六、▽伊六四、

伊六一、伊六二、▽伊六三、伊五九、

伊六〇

敷島、知床、佐多、鶴見、早鞆、能登呂、

隱戸

(伊六六)、(曉)

【長崎】

(鳥海)

【馬公】 嗟峨

葦、董

【鎮海】

▽蓮、▽蓼、▽蓬

【作業地】

大和

【旅順】

八雲

【葫蘆島】

▽芙蓉、▽刈萱、▽朝顔

【海州沖】

▽球磨

【上海】

▽出雲、▽安宅、▽常磐、▽熱海、▽平戸、▽龍田

▽櫻、▽柳、▽桃、▽楡、▽萩、▽葛

室戸、青島

【吳淞】

藤、薄

【鎮江】

堅田

【南京】

對馬

【九江】

浦風

【大冶】

宇治

【漢口】

隅田

【長沙】

天龍、鳥羽、勢多

【宜昌】

伏見、二見

【馬尾】

保津、比良

【廈門】

北菱

【汕頭】

北上

【廣東】

樞、竹

【作業地】

膠州

【*ハート】

▽淺間、▽磐手

【航海中】

神威 (四月二十五日榮港發—徳山へ)

殿島 (十六日吳發—横須賀へ)

神風 (十六日長浦發—館山ヲ經テ父島へ)

野島 (十六日佐世保發—横須賀へ)

(部内限三頁)

0541

海軍公報

第千五百八十三號

海軍大臣官房

昭和七年五月十八日(水)

○辭令

第四部勤務ヲ命ス 海軍技手 百木 健
 第二部勤務ヲ命ス 同 稻葉 豊重
 第二部附ヲ命ス(以上^{以上}海軍艦政本部) 同 落合 新作

○雜款

○司令驅逐艦變更
 第一驅逐隊司令ハ一昨十六日司令驅逐艦ヲ神風ヨリ野風ニ變更セリ

○軍艦多摩行動豫定

地名	着	發
長 鶴	五月二十一日	五月二十日
舞 鶴	二十五日	二十三日
若 狹	三十日	六月二日

舞 鶴	六月二日	六月五日	六月七日	六月八日	六月十日	六月十二日	六月十四日	六月十六日	六月十八日	六月二十日	六月二十二日	六月二十四日	六月二十六日	六月二十八日	六月三十日
萩 舞	六月五日	六月七日	六月九日	六月十一日	六月十三日	六月十五日	六月十七日	六月十九日	六月二十一日	六月二十三日	六月二十五日	六月二十七日	六月二十九日	六月三十一日	
大 濱	六月七日	六月九日	六月十一日	六月十三日	六月十五日	六月十七日	六月十九日	六月二十一日	六月二十三日	六月二十五日	六月二十七日	六月二十九日	六月三十一日		
大 呼	六月九日	六月十一日	六月十三日	六月十五日	六月十七日	六月十九日	六月二十一日	六月二十三日	六月二十五日	六月二十七日	六月二十九日	六月三十一日			
賀 舞	六月十一日	六月十三日	六月十五日	六月十七日	六月十九日	六月二十一日	六月二十三日	六月二十五日	六月二十七日	六月二十九日	六月三十一日				
船 船	六月十三日	六月十五日	六月十七日	六月十九日	六月二十一日	六月二十三日	六月二十五日	六月二十七日	六月二十九日	六月三十一日					
酒 新	六月十五日	六月十七日	六月十九日	六月二十一日	六月二十三日	六月二十五日	六月二十七日	六月二十九日	六月三十一日						
寺 直	六月十七日	六月十九日	六月二十一日	六月二十三日	六月二十五日	六月二十七日	六月二十九日	六月三十一日							
東 直	六月十九日	六月二十一日	六月二十三日	六月二十五日	六月二十七日	六月二十九日	六月三十一日								
伏 木	六月二十一日	六月二十三日	六月二十五日	六月二十七日	六月二十九日	六月三十一日									
飯 木	六月二十三日	六月二十五日	六月二十七日	六月二十九日	六月三十一日										
金 石	六月二十五日	六月二十七日	六月二十九日	六月三十一日											
三 國	六月二十七日	六月二十九日	六月三十一日												
敦 賀	六月二十九日	六月三十一日													
岩 江	六月三十一日														

海軍公報 第千五百八十三號 昭和七年五月十八日

四八五

0542

【佐世保】

名取、陸奥、衣笠、長良、川内、青葉、霧島、由良、▽迅鯨、加賀、足柄、羽黒、龍田

▽夕風、朝風、追風、疾風、▽栗、楡、柿、梅

呂二三、呂二四、呂二五、▽呂六四、

呂六三、呂六八、▽呂三〇、呂二九、

呂三二、▽呂六〇、呂六一、呂六二、

▽呂六七、呂六五、呂六六、▽伊六四、

伊六一、伊六二、▽伊六三、伊五九、

伊六〇

敷島、知床、佐多、鶴見、早鞆、能登呂、

隱戸

(伊六六)、(曉)

【長崎】

(鳥海)

【馬公】

嵯峨

董

【鎮海】

▽蓮、蓼、蓬

【作業地】

大和

【旅順】

八雲

▽芙蓉、刈萱、朝顔

【葫蘆島】

淀

【海州沖】

▽球磨

【上海】

▽出雲、▽安宅、常磐、熱海、平戸

▽榎、柳、桃、楡、▽萩、葛

室戸、青島

【吳淞】

藤、薄

【鎮江】

堅田

【南京】

對馬

【九江】

浦風

【大冶】

宇治

【漢口】

陰田

【長沙】

天龍、鳥羽、勢多

【宜昌】

伏見、二見

【馬尾】

保津、比良

【廈門】

北菱

【汕頭】

北上

【廣東】

葦

【作業地】

梨

【航海中】

膠州

【神威】

(四月二十五日桑港發—徳山へ)

【嚴島】

(十六日吳發—横須賀へ)

【神風】

(十六日長浦發—館山ヲ經テ父島へ)

【野島】

(十六日佐世保發—横須賀へ)

【淺間】

磐手 (十七日「ホバート」發—「シドニー」へ)

【襟裳】

(十七日徳山發—横須賀へ)

(部内限一頁)

0546

海軍公報

第千五百八十四號

海軍大臣官房

昭和七年五月十九日(木)

○通牒

航本第一一五三號

昭和七年五月十八日

海軍航空本部總務部長

關係廳長殿

須式水平儀用「ベンチュリ」管ノ件照會

須式水平儀用「ベンチュリ」管ニ關スル使用區分左記
ノ通ニ有之候條了知相成度

記

大 氣速八〇節以下用

小 氣速八〇節以上用

○辭令

海軍技手 岩崎幸太郎

第三部勤務ヲ命ス(五月十八日海軍艦政本部)

○雜款

○驅逐艦連行動豫定

地名 着

舞鶴 五月二十四日

鳥羽 五月二十五日

横須賀 五月二十六日

○郵便物發送先

驅逐艦連宛 五月二十一日迄ニ到達見込ノモノハ

同 二十四日迄ニ 同 二 舞鶴

其ノ後ハ 横須賀 見

特務艦鶴見宛 五月二十三日迄ニ到達見込ノモノハ 佐世保

其ノ後ハ 山口縣粟野

海軍公報 第千五百八十四號 昭和七年五月十九日

四九一

0547

○艦船所在

▲印ハ「ハ」ノ指定ヲ要セズ

○五月十九日午前十時調

【横須賀】

日進▲、山城▲、五十鈴▲、駒橋、長門、赤城、木曾、榛名、春日、愛宕、口金剛、

▷鳳翔

▷沖風、峯風、矢風、澤風、▷潮、曙、朧、

▷朝霧、夕霧、天霧、狹霧

▷伊四、伊三、▷伊二

掃六

富士、尻矢、洲崎、鳴戸、野島

(高雄)、(龍驤)

【長浦】

嚴島

桑、楨、櫻、椿、▷野風、沼風、▷羽風、太刀風、帆風、秋風、▷朝風、春風、松風、

旗風

呂二〇、呂二一、呂二二、▷呂五五、

呂五四、呂五六、▷呂五九、呂五七、

呂五八、▷伊二四、伊二三、伊一

▷掃五、掃一、掃二、掃三、掃四

【浦賀】

(雷)

【八丈島】

波風

【父島】

神風

【大泊】

大泊

【作業地】▷島風、灘風、沙風、夕風

【吳】

扶桑▲、比叡、加古、矢矧、古鷹、鬼怒、韓崎、勝力、白鷹、▷日向、伊勢、▷那珂、阿武隈、▷妙高、那智▲、▷神通、▷長鯨

江風、谷風、天津風、時津風、磯風、濱風、

▷早苗、若竹、吳竹、早蕨、▷白雲、初雪、

深雪、▷叢雲、薄雲、白雲、▷敷波、

綾波、浦波、▷東雲、吹雪、磯波

呂一四、呂一五、呂一六、呂一七、

呂一八、呂一九、▷呂五一、呂五三、

▷伊二一、伊二二、▷伊五二、伊五一、

▷伊五七、伊五六、伊五八、▷伊五五、

伊五三、伊五四

掃七、掃八、掃九、掃一〇

劍崎、石廊、攝津、朝日、問宮

(伊六五)、(八重山)

【大阪】

(電)

【神戸】

(摩耶)、(伊六七)、(伊五)

【宮島】

▷呂二七、呂二六、呂二八

【徳山】

大井

【亀川】

▷夕張

【舞鶴】

▷阜月、文月、長月、水無月、▷三日月、

菊月、望月、夕月、▷彌生、如月、陸月、

卯月、吾妻、多摩

呂夕顔、葵、菊

呂三一

【佐世保】

名取、陸奥、衣笠、長良、川内、青葉、霧島、由良、▽迅鯨、加賀、足柄、羽黒、龍田

▽夕風、朝風、追風、疾風、楡、柿、梅

呂二三、呂二四、呂二五、▽呂六四、

呂六三、呂六八、▽呂三〇、呂二九、

呂三二、▽呂六〇、呂六一、呂六二、

▽呂六七、呂六五、呂六六、▽伊六四、

伊六一、伊六二、▽伊六三、伊五九、

伊六〇

敷島、知床、佐多、鶴見、早鞆、能登呂、

隠戸

(伊六六)、(曉)

【長崎】

(鳥海)

【馬公】

嵯峨 董

【鎮海】

▽蓮、蓼、蓬

【作業地】

大和

【旅順】

八雲

【葫蘆島】

▽芙蓉、刈萱、朝顔

【海州沖】

▽球磨

【上海】

▽山雲、▽安宅、常磐、熱海、櫻、柳、桃、▽萩、葛、青島

【吳淞】

藤、蕪

【鎮江】

堅田

【南京】

對馬

【九江】

浦風

【漢口】

宇治

【廈門】

北

【汕頭】

竹

【廣東】

梨

【作業地】

膠州

【航海中】

神威

【淺間】

(四月二十五日發港發—德山—)

【樺太】

(四月十七日發—ホバト—)

【平戸】

(四月十七日發—横須賀—)

【檣島】

(四月十八日發—瓜州—)

【檣島】

(四月十八日發—瓜州—)

【檣島】

(四月十八日發—瓜州—)

【檣島】

(四月十八日發—瓜州—)

(部内限二頁、同別表一葉)

0549

海軍公報

第千五百八十五號

昭和七年五月二十日(金)

海軍大臣官房

○令 達

官房第一八九一號

東京ニ於ケル海軍軍人ノ第二種軍裝(夏袴)ヲ用フル期日ヲ六月二十日(月)ヨリトシ同日以降夏季ノ間晴雨ニ拘ラズ之ヲ用フ但シ雨天ノトキ又ハ作業上必要アル場合ニ於テハ學校、東京海軍無線電信所、海軍技術研究所及軍樂隊(東京へ派遣中ノモノ)ノ職員、學生、生徒、下士官兵ハ適宜軍袴ヲ著用スルコトヲ得此ノ場合ニ在リテハ廳長ニ於テ之ヲ指定シ齊一ナラシムルヲ要ス

昭和七年五月二十日

海軍大臣

○通 牒

官房第一八七九號

昭和七年五月十九日

海軍次官

各艦船部隊長殿

准士官以上及軍屬ニ對スル三種混合豫防接種ニ關スル件申進

今般達第六十八號ヲ以テ「チフス」屬疾患豫防ノ爲三種混合豫防接種施行ノ件改正相成候處艦船部隊ニ勤務ノ准士官以上及軍屬ニ對シテモ成ルベク施行セシメラルル様致度

大正五年五月十六日官房第一四九八號ハ自然消滅

○雜 款

○司令驅逐艦指定

第十驅逐隊司令ハ昨十九日司令驅逐艦ヲ狹霧ニ指定セリ

海軍公報 第千五百八十五號

昭和七年五月二十日

四九五

0550

○郵便物發送先

軍艦嵯峨宛

五月二十九日迄ニ到達見込ノモノハ 馬 公
其ノ後ハ 門司郵便局氣付(軍艦郵便)

○事務所撤去

驅逐艦連艦裝具事務所ヲ舞鶴要港部工作部内ニ設置中
ノ處一昨十八日撤去セリ

○改姓

海軍軍醫中尉鈴木勝身ハ荒井ト改姓ノ旨一昨十八日届
出デタリ

0551

○艦船所在

指▲印△ハホホ
定ヲ要セズ

○五月二十日午前十時調

【横須賀】

日進▲、山城▲、五十鈴▲、駒橋、長門、赤城、木曾、榛名、春日、愛宕、口金剛、

▷風翔

▷沖風、峯風、矢風、深風、▷潮、曙、朧、

▷朝霧、夕霧、天霧

▷伊四、伊三、▷伊二

掃六

富士、尻矢、淵崎、鳴戸、野島、襟裳、

(高雄)、(龍驤)

【長浦】

嚴島

桑、檜、櫻、椿、▷野風、沼風、▷羽風、

太刀風、帆風、秋風、▷朝風、春風、松風、

旗風、▷狹霧

呂二〇、呂二一、呂二二、▷呂五五、

呂五四、呂五六、▷呂五九、呂五七、

呂五八、▷伊二四、伊二三、伊一

▷掃五、掃一、掃二、掃三、掃四

【浦賀】

(雷)

【館山】

波風

【作業地】

▷島風、灘風、汐風、夕風

大泊

【吳】

扶桑▲、比叡、加古、矢矧、古鷹、鬼怒、

韓崎、勝力、自燃、▷日向、伊勢、▷那珂、

阿武隈、▷妙高、那智、▷神通、▷長鯨

江風、谷風、天津風、時津風、磯風、濱風、

早苗、若竹、吳竹、早蕨、▷白雪、初雪、

深雪、▷叢雲、薄雲、白雲、▷敷波、

綾波、浦波、▷東雲、吹雪、磯波

呂一四、呂一五、呂一六、呂一七、

呂一八、呂一九、▷呂五一、呂五三、

▷伊二一、伊二二、▷伊五二、伊五一、

▷伊五七、伊五六、伊五八、▷伊五五、

伊五三、伊五四

掃七、掃八、掃九、掃一〇

劍崎、石廊、攝津、朝日、間宮

(伊六五)、(八重山)

【大阪】

(電)

【神戸】

(摩耶)、(伊六七)、(伊五)

【舞鶴】

吾妻、多摩

▷夕顔、葵、菊、漣

【佐世保】

呂三一

名取▲、陸奥、衣笠、長良、川内、青葉、

霧島、山良、▷迅鯨、加賀、足柄、羽黒、

龍田

▷夕風、朝風、追風、疾風、楡、柿、梅

呂二三、呂二四、呂二五、▷呂六四、

<p>【長崎】(鳥海) (伊六六)、(曉)</p> <p>【馬公】 嵯峨 董</p> <p>【鎮海】 蓮、蓼、蓬</p> <p>【作業地】 大和</p> <p>【旅順】 八雲</p> <p>【葫蘆島】 淀</p> <p>【海州沖】 球磨</p> <p>【上海】 出雲、安宅、常磐、熱海 櫻、檜、柳、桃、藤、蕪、栗</p> <p>【吳淞】 萩、葛</p> <p>【鎮江】 堅田</p> <p>【南京】 對馬</p> <p>【浦風】 浦風</p> <p>【九江】 宇治</p> <p>【大江】 岡田</p>	<p>呂六三、呂六八、呂三〇、呂二九、 呂三二、呂六〇、呂六一、呂六二、 呂六七、呂六五、呂六六、伊六四、 伊六一、伊六二、伊六三、伊五九、 伊六〇</p> <p>敷島、知床、佐多、鶴見、早鞆、能登呂、 隱戸</p>	<p>【漢口】 天龍、鳥羽、勢多</p> <p>【長沙】 伏見、二見</p> <p>【宜昌】 保津、比良</p> <p>【馬尾】 菱</p> <p>【廈門】 北上</p> <p>【汕頭】 竹 葦</p> <p>【廣東】 樵、梨 (作業地) 膠州</p> <p>【航海中】 神威 (四月二十五日桑港發—徳山へ) 淺間、磐手 (十七日、ホバート發—「シドニー」へ) 平戸、室戸 (十八日上海發—吳へ) 神風 (十九日二見發) 呂二七、呂二六、呂二八 (十九日宮島發—吳へ) 青島 (十九日上海發—佐世保へ) 夕張、阜月、文月、長月、水無月、三日月、 菊月、望月、夕月、彌生、如月、睦月、卯月 (三 十日亀川發—佐世保へ) 大井 (二十日徳山發—小串へ)</p>
--	---	--

(附録一冊、部内限二頁)

0553

海軍公報

第千五百八十六號

海軍大臣官房

昭和七年五月二十一日(土)

○令達

官房第一四〇六號ノ三

昭和七年度歳出科目中左ノ通追加ス

昭和七年四月二十六日

海軍大臣

作業會計

款	項	目	解	疏	會計科目 電信略號
	×賞與				シミ
	×賞與				キノ

○雜款

○郵便物發送先

地名	着	發
吳山	六月二日	六月三日
德賀	六月六日	六月八日
大湊	六月十一日	六月十三日
横須賀	六月二十九日	七月二日
徳山	七月十一日	七月十三日
横須賀	七月十六日	七月十八日
オハ	七月二十五日	七月二十七日
徳山	八月五日	八月六日
吳山	八月七日	八月六日

○特務艦燃費行動豫定

地名	着	發
吳山	六月二日	六月三日
横須賀	六月二十五日	六月三十日
佐保	五月二十日	五月二十二日
上海	五月二十日	五月十八日

○特務艦室戸行動豫定

着

發

海軍公報 第千五百八十六號

昭和七年五月二十一日

四九九

0554

特務艦室戸宛

五月二十九日迄ニ到達見込ノモノハ 横須賀
其ノ後ハ 吳

特務艦早鞆宛

五月二十二日迄ニ到達見込ノモノハ 佐世保
同 二十七日迄ニ 同 旅順
其ノ後ハ 佐世保

○在外武官宿所

米國駐在海軍軍醫少佐小田島祥吉ハ宿所ヲ左記ニ定メ
タリ

記

Surgeon Lieut-Commander S. Otajima, I. J. N.,
c/o Mr. Walker, Suite 3, Lincoln Hall west,
15 Audubon Rti., Boston City, Mass.,
U. S. A.

0555

○艦船所在

指▲印ハ「ハホ」ヲ
定テ要セズ

○五月二十一日午前十時調

【横須賀】

日進▲、山城▲、五十鈴▲、駒橋、長門、赤城、木曾、榛名、春日、愛宕、口金剛、

▷鳳翔

▷沖風、峯風、矢風、澤風、▷潮、曙、朧、

▷朝霧、夕霧、天霧

▷伊四、伊三、▷伊二

掃六

富士、尻矢、洲崎、鳴戸、襟裳

(高雄)、(龍驤)

【長浦】

嚴島

桑、楨、櫻、椿、▷野風、沼風、波風、

▷羽風、太刀風、帆風、秋風、▷朝風、春風、

松風、旗風、▷狭霧

呂二〇、呂二一、呂二二、▷呂五五、

呂五四、呂五六、▷呂五九、呂五七、

呂五八、▷伊二四、伊二三、伊一

▷掃五、掃一、掃二、掃三、掃四

【浦賀】

(雷)

▷島風、灘風、汐風、夕風

【作業地】

大泊

【吳】 扶桑▲、比叡、加古、矢矧、古鷹、鬼怒、

韓崎、勝力、白鷺、▷日向、伊勢、▷那珂、

阿武隈、▷口妙高、那智、▷神通、▷長鯨、

江風、谷風、天津風、時津風、磯風、濱風、

▷早苗、若竹、吳竹、早蕨、▷白雲、初雪、

深雪、▷叢雲、薄雲、白雲、▷敷波、

綾波、浦波、▷東雲、吹雪、磯波

呂一四、呂一五、呂一六、呂一七、

呂一八、呂一九、▷呂五一、呂五三、

▷伊二一、伊二二、▷伊五二、伊五一、

▷伊五七、伊五六、伊五八、▷伊五五、

伊五三、伊五四

掃七、掃八、掃九、掃一〇

劍崎、石廊、攝津、朝日、問宮

(伊六五)、(八重山)

【大阪】

(電)

【神戸】 (摩耶)、(伊六七)、(伊五)

【小串】

大井

【舞鶴】

吾妻

▷夕顔、葵、菊、漣

【佐世保】

呂三一

名取▲、陸奥、衣笠、長良、川内、青葉、

霧島、由良、▷迅鯨、加賀、足柄、羽黒、

龍田、▷夕張

▷夕風、朝風、追風、疾風、楡、柿、▷草月、

文月、長月、水無月、▷三日月、菊月、

0556

望月、夕月、呂三三、呂二四、呂二五、呂六四、
 呂六三、呂六八、呂三〇、呂二九、
 呂三二、呂六〇、呂六一、呂六二、
 呂六七、呂六五、呂六六、呂六四、
 伊六一、伊六二、伊六三、伊五九、
 伊六〇
 敷島、知床、佐多、鶴見、早鞆、能登呂、
 隱戸、室戸、神威
 (伊六六)、(曉)
 【長崎】(鳥海)
 【馬公】嗟峨
 董
 【鎮海】蓮、蓼、蓬
 【作業地】大和
 【旅順】八雲
 【葫蘆島】淀
 【海州沖】球磨
 【上海】出雲、安宅、常磐、熱海
 櫻、檜、柳、桃、藤、薄、栗
 【吳淞】萩、葛
 【鎮江】堅田
 【南京】蜀馬
 【燕湖】浦風
 【九江】宇治

【大治】隅田
 【漢口】天龍、鳥羽、勢多
 【長沙】伏見、二見
 【宜昌】保津、比良
 【馬尾】菱
 【廈門】北上
 【汕頭】竹
 【廣東】榎、梨
 【作業地】膠州
 【シドニー】淺間、磐手
 【航海中】
 平戸 (十八日上海發―吳へ)
 神風 (十九日二見發)
 呂二七、呂二六、呂二八 (十九日宮島發―吳へ)
 青島 (十九日上海發―佐世保へ)
 多摩 (二十日舞鶴發―長箭洞へ)
 芙蓉、刈萱、潮頭 (二十日旅順發―青島へ)
 梅 (二十日佐世保發―濟州島へ)
 野島 (二十一日横須賀發―佐世保へ)

(部内限一頁)

0557



海軍公報

第千五百八十七號

昭和七年五月二十三日(月)

海軍大臣官房

○ 辭令

海軍艦政本部勤務兼造船監督助手

海軍技手 米元 竹平

海軍艦政本部勤務兼大湊要港部附ヲ命ス(海軍省)

海軍機關大尉 松尾 務

第四部勤務ヲ命ス(海軍艦政本部)

○ 雜款

○郵便物發送先

特務艦鳴戸宛

五月二十五日迄ニ到達見込ノモノハ

其ノ後ハ

横須賀
佐世保

○學生着任期日

今般任令相成ルベキ本校普通科學生ハ來六月九日始業式舉行可致ニ付其ノ前日迄ニ着任セシメラレ度

(海軍工機學校)

海軍公報 第千五百八十七號 昭和七年五月二十三日

五〇三

0558

○艦船所在

指定ヲ要セズ

○五月二十三日午前十時調

【横須賀】

目進、山城、五十鈴、駒橋、長門、赤城、木曾、榛名、春日、愛宕、口金剛、

▷鳳翔

▷沖風、峯風、矢風、澤風、口潮、曙、隴、

▷朝霧、夕霧、天霧

▷伊四、伊三、口伊二

掃六

富士、尻矢、洲崎、鳴戸

(高雄)、(龍驤)

【長浦】

巖島

桑、檣、樗、棒、口野風、沼風、神風、波風、

▷羽風、太刀風、帆風、秋風、口朝風、春風、

松風、旗風、口狹霧

呂二〇、呂二一、呂二二、口呂五五、

呂五四、呂五六、口呂五九、呂五七、

呂五八、口伊二四、伊二三、伊一

▷掃五、掃一、掃二、掃三、掃四

【浦賀】

(雷)

扶桑、比叡、加古、矢矧、古鷹、鬼怒、

平戸、韓崎、勝力、白鷹、▷日向、伊勢、

▷那珂、阿武隈、口妙高、那智、▷神通、

▷長鯨

江風、谷風、天津風、時津風、磯風、濱風、

▷早苗、若竹、吳竹、早蕨、口白雪、初雪、

深雪、口叢雲、蕪雲、白雲、口敷波、

綾波、浦波、口東雲、吹雪、磯波

呂一四、呂一五、呂一六、呂一七、

呂一八、呂一九、口呂五一、呂五三、

▷伊二一、伊二二、口伊五二、伊五一、

▷伊五七、伊五六、伊五八、口伊五五、

伊五三、伊五四

掃七、掃八、掃九、掃一〇

劍崎、石廊、攝津、朝日、間宮

(伊六五)、(八重山)

【大阪】

(龍)

【神戸】(摩耶)、(伊六七)、(伊五)

【舞鶴】

吾妻

▷夕顔、葵、菊

呂三一

大和

【佐世保】名取、陸奥、衣笠、長良、川内、青葉、

霧島、由良、▷迅鯨、加賀、足柄、羽黒、

龍田、▷夕張

▷夕風、朝風、追風、疾風、口栗、楡、柿、

▷阜月、文月、長月、水無月、口三日月、

0559

<p>【長】 綺 (鳥海) 【馬】 公 嗟峨 【鎮】 海 蓮、蓼、蓬 【長】 箭洞 多摩 【大】 連 八雲 【海】 州沖 球磨 【青】 島 芙蓉、刈萱、朝顔 【上】 海 出雲、安宅、熱海、二見 【馬】 鞍群島 常磐 【吳】 淞 萩、葛 【鎮】 江 堅田 【南】 京 對馬 【燕】 湖 浦風</p>	<p>卯月、望月、夕月、區彌生、如月、陸月、 呂二三、呂二四、呂二五、區呂六四、 呂六三、呂六八、區呂三〇、呂二九、 呂三二、區呂六〇、呂六一、呂六二、 區呂六七、呂六五、呂六六、區伊六四、 伊六一、伊六二、區伊六三、伊五九、 伊六〇 敷島、知床、佐多、鶴見、早鞆、能登呂、 隱戶 (伊六六)、(曉)</p>
<p>【九】 江 宇治 【大】 治 岡田 【淡】 口 天龍、鳥羽、勢多 【長】 沙 伏見 【宜】 昌 保津、比良 【馬】 尾 菱 【厦】 門 北上 【油】 頭 董 【廣】 東 榎 【シ】 フニ 淺間、磐手 【作】 業地 澁 區島風、灘風、汐風、夕風 大泊、膠州</p>	<p>【航海中】 區呂二七、呂二六、呂二八 (十九日宮島發—吳へ) 野島 (二十一日橫須賀發—佐世保へ) 梨 (二十二日廣東發—馬公へ) 竹 (二十二日油頭發—馬公へ) 漣 (二十二日舞鶴發—鳥羽へ) 梅 (二十二日兄弟島發—佐世保へ) 襟裳 (二十二日橫須賀發—吳へ) 神威 (二十二日佐世保發—橫須賀へ) 青島 (二十二日佐世保發—馬公へ) 室戶 (二十二日佐世保發—橫須賀へ)</p>

(附錄十頁、部内限一頁)

0560

海軍公報 附録

昭和七年五月二十三日(月)
海軍大臣官房

○雜款

○圖書

去ル四月中ニ納庫セル圖書左ノ如シ(海軍文庫)

和漢書ノ部

A〇〇〇 兵 書

日〇もし戦はば?

伊達龍城著 昭和七
東京 日本圖書出版協會

七七九

C〇〇〇 陸海軍、海軍、航空

支那の軍情 陸軍少將 多賀宗之著
昭和六 東京 兵林館

七七六

C〇四〇 旗 章

各國旗の由來と國祭日 内藤篤著 昭和六
東京 同文館

七七九

C四〇〇 水路圖誌

昭和 水路圖誌目錄 水路部編 昭和七

七七九

昭和 水路圖誌目錄 水路部編 昭和七

七七九

C四一〇 水路誌

菲律賓諸島水路誌 第三卷 水路部編 昭和七

七七五

西伯利亞東岸水路誌 第一卷 水路部編 昭和七

六七七

C六一〇 精神教育

勅諭奉戴五十年を迎へ奉りて 陸軍省共編 昭和七
海軍省共編 自六七七
自六六六

C六五〇 青少年團

歐米青少年運動の精神と實際 文部省編 昭和六
東京 財團法人社會教育會

七六五

D一一二 日本史—時代史

近世日本國民史(朝森) 德富猪一郎著 昭和六
安涉編 東京 民友社

七六一

D一三三 歴史—支那

蒙古史研究 箭内互著 昭和五 東京 刀江書院

七六一

D二〇〇 戦史(一般)

帝國海軍と上海事變 高橋邦夫著 昭和七
東京 日本評論社

自七八九
至七六九

D四二〇 世界大戦—陸戦史

歐洲戦争研究資料 第十九卷 參謀本部編 昭和七
東京 財團法人 偕行社編纂部

七九五

D六二〇 傳記—武人

上村將軍言行録	淺野常瑞共著 昭和五 渡邊盛衛共著 東京 平凡社	自七五二 至七五五 七五六
滿蒙權益要録	關東總編 昭和七	七五五
E1000 外交、國際法(一般)		
E1000 外交		
最近支那國際關係	齊藤良衛著 昭和六 東京 國際聯盟協會	七〇四
最近に於ける歐米國際關係	內藤智秀著 昭和六 東京 東洋圖書株式合資會社	七二六
外交及外交史研究	松原一雄著 昭和六 東京 丸善株式會社	七二四
E1100 外交史		
近世支那外交史	稻坂晴著 昭和四 東京 明治大學出版部	七〇五
滿洲事變外交史	榎原茂樹、柏正彦共著 昭和七 東京 金港堂書籍株式會社	七二二
E1200 國際公法		
平時國際法論	立作太郎著 昭和五 東京 日本評論社	七二八
訂改國際法提要	遠藤源六著 昭和七 東京 清水書店	七四九
國際公法論	中村進午著 昭和三 東京 清水書店	七五〇
E1210 戰時國際公法		
戰時國際法論	立作太郎著 昭和六 東京 日本評論社	七二七
E1330 國際聯盟		
國際聯盟概説	外務省情報部編 昭和六 東京 財団法人 國際聯盟協會	七七一
訂改國際聯盟入門	大熊眞著 昭和三 東京 財団法人 國際聯盟協會	七七三
國際聯盟規約	英佛和 國際聯盟協會編 昭和三 文對譯 東京 財団法人 國際聯盟協會	七七四
E1370 戰爭ノ問題		
滿洲事變と不戰條約國際聯盟	松原一雄著 昭和七 東京 丸善株式會社	七〇八
國際聯盟理事會 總會に於ける 日支紛争の議事經過詳報	國際聯盟事務局東京支局 昭和七	七〇三
E1381 各國ノ問題—日本		
滿蒙の我權益	大阪對支經濟聯盟著 昭和七 大阪 毎日新聞社	七〇九
E1383 各國ノ問題—支那		
動く滿蒙	松岡洋右著 昭和六 東京 先進社	七二二
滿蒙問題と我大陸政策	陸軍中將 佐藤清勝著 昭和六 東京 春秋社	七二四
滿洲の過去と將來	長野則著 昭和六 東京 支那問題研究所	七二五
E1400 條約		
不戰條約	信夫淳平著 昭和三 東京 財団法人 國際聯盟協會	七三三
E1410 條約集		
國際條約集	松原一雄著 昭和五 東京 外交時報社	七四九

0562

支那關係條約集	外交時報社編 昭和五 東京 外交時報社	七六六
E五二〇 各國々情—支那		
最近の支那事情と國民黨の領導	村上貞吉述 昭和七 全國經濟調査機關聯合會	七九〇三
E一二二 各國の政治		
一九三〇年 支那政治經濟年史	東亞經濟調査局編 昭和七 東京 先進社	七〇六
支那近代の政治經濟	日華實業協會編 昭和六 東京 外交時報社	七〇七
E二二〇 憲法		
滿洲事變と新國家	陸軍中將 佐藤清勝著 昭和七 東京 春秋社	七二二
新憲法述義	上杉樞吉著 昭和三 東京 有斐閣	七三三
E二二二 日本の憲法		
逐憲法精義	美濃部達吉著 昭和六 東京 有斐閣	七三三
E一三〇 立法		
訂改衆議院委員會先例彙纂	衆議院事務局編 昭和四	七七三
訂衆議院要覽(甲)	衆議院事務局編 昭和五	七七三
訂衆議院要覽(乙)	衆議院事務局編 昭和三	七七四
訂增貴族院要覽(甲)	貴族院事務局編 昭和四	七七五
訂增貴族院要覽(乙)	貴族院事務局編 昭和四	七七六
訂改衆議院委員會先例彙纂	衆議院事務局編 昭和三	七七七
訂第五十九回衆議院報告	衆議院事務局編 昭和六	七八一
帝國議會		
第一回乃至第十七回總選舉	衆議院議員當選回数調 衆議院事務局編 昭和六	七八三
第五十九回衆議院議事摘要	上、中、下卷 衆議院事務局編 昭和六	七八三
第六十回衆議院議事摘要	衆議院事務局編 昭和七	七八四
帝國議會		
第六十回衆議院報告	衆議院事務局編 昭和七	七八五
E一六〇 植民		
北海道第一期拓植計畫事業報文	北海道廳編 昭和六	七六九
拓務要覽	昭和六年版 拓務大臣官房文書課編 拓務省 昭和七	七七九
E二二〇 法律—法學		
訂改法學通論	織田萬著 昭和六 東京 寶文館	七三三
E二四〇 法律—民法		
民法研究	自第一卷 鳩山秀夫著 昭和五 至第四卷 東京 岩波書店	七三五
訂增日本債權法各論	上、下卷 鳩山秀夫著 昭和六 東京 岩波書店	七三六
訂增日本債權法(總論)	鳩山秀夫著 昭和六 東京 岩波書店	七三七

0563

H二二三 年鑑、年報等	
第五十回 日本帝國統計年鑑 内閣統計局編 昭和六 東京 東京統計協會	七七八〇 七六七七
昭和四年 日本外國貿易年表 下卷 大藏省編 昭和七	七七八三
昭和七年 ラヂオ年鑑 日本放送協會編 昭和七 東京 日本放送出版協會	七六〇〇
一九三一年 ブラツセイ海軍及海軍年鑑 有終會編輯部 同人共譯	七六六七
I一四〇 日本地誌—郷土史及風土記 東京 財団法人 有終會 昭和六	七六六七
東京市史稿 市街編 第十一 東京市役所編 昭和六	七六九〇
同 第十二 東京市役所編 昭和六	七九〇〇
同 第十三 東京市役所編 昭和六	七九〇一
I一七〇 日本地誌—事情 昭和七	七六八〇
昭和七年 朝鮮要覽 朝鮮總督府編 昭和六	七六八〇
I一七八〇 龍細成地誌—事情 秋山昌男編 昭和五 大連 新天地社	七六二〇
滿蒙事情十六講 秋山昌男編 昭和五	七六二〇
J二〇〇 理學 東京天文臺編 昭和六 東京 帝國大學	七六七七
理科年表 (昭和七年) 東京天文臺編 昭和六	七六七七
J三三〇 化學工學 第一卷 後藤正治著 昭和二 東京 富山房	七六九三
同 第二卷 同 昭和四 富山房	七六九三
合金學 第三卷 後藤正治著 昭和六 東京 富山房	七六九四
J四八〇 衛生 昭和二 東京 旺文堂書店	七六四四
社會衛生學 昭和二 東京 旺文堂書店	七六四四
K一三三三 心理—國民精神 大谷光瑞著 昭和七 東京 大乘社東京支部	七六四七 七六八八
支那の國民性 大谷光瑞著 昭和七	七六四七
K二〇〇〇 宗教 生田長江著 昭和七 東京 新潮社	七六五九
宗教至上 生田長江著 昭和七	七六五九
K三〇〇〇 教育 大谷光瑞著 昭和六 東京 大乘社東京支部	七六四四 七六八七
支那事變下我國民之覺悟 大谷光瑞著 昭和六	七六四四
K三六〇 學校、教科書 京都帝國大學一覽 京都帝國大學編 昭和七	七六七〇 七七一
昭和六年 京都帝國大學一覽 京都帝國大學編 昭和七	七六七〇
K四一〇 社會學 小松隆太郎著 昭和七 東京 日本評論社	七七一
社會構造の理論 小松隆太郎著 昭和七	七七一
K四一三 社會政策 社會立法協會編 昭和七 東京 社會立法協會	七七一
當面の社會政策 社會立法協會編 昭和七	七七一
K四三〇 社會主義—其他(一般) 今中次郎著 昭和七 東京 大畑書店	七七一
フアッシュイズム運動論 今中次郎著 昭和七	七七一

0565

M 〇一〇 演説、論文	式辭挨拶演説 (大日本百科 今非健彦著 昭和六 集) 東京 誠文堂	七〇二	新和英大辭典 武信山太郎著 昭和六 東京 研究社	七四〇
M 二〇〇 叢書	明治維新と現代支那 三浦周行著 昭和六 東京 刀江書院	七〇三	三省堂英和大辭典 三省堂編輯所編 昭和六 東京 三省堂	七六六
M 六一〇 辭書—國語	支那に於ける列國の海軍勢力 滿鐵庶務部調査課編 昭和四	七〇三	模佛和大辭典 山本直文外九名共編 昭和七 東京 白水社	七六六
M 六一〇 辭書—漢文	模國漢文辭典 三省堂編輯所編 昭和六 東京 三省堂	七六六	雙獨和大辭典 片山正雄著 昭和七 東京 南江堂書店	七七〇
M 六二〇 辭書—漢文	常用最新辭典 榎本哲三編 昭和七 東京 青野文魁堂	七六九	洋書部 1. ENGLISH BOOKS.	
M 六二〇 辭書—漢文	廣辭林 金澤庄三郎編 昭和六 東京 三省堂	七六九	(A330. War Science-General) The Submarine in War. by K. Mori, 1931, Tokyo, Maruzen & Co. 7987-7990	
M 六三〇 辭書—外國語	新漢和大辭典 小柳司氣太著 昭和七 東京 博文館	七三三	(A451. Navigation-Tables.) Navigation Tables for Mariners and Aviators for All Latitudes. by Dreisonstok, 1931, Washington, Government Printing Office. 7938-7940	
M 六三〇 辭書—外國語	芳漢和新大辭典 芳賀剛太郎著 昭和七 東京 有精堂	七三三	(A455. Navigation-Compass) Admiralty Manual of the Sperry Gyro Compass 1931. 1931, London, His Majesty's Stationery Office. 7995	
M 六三〇 辭書—外國語	大辭典 上田万年外四名共著 昭和六 東京 啓成社	七三三	(A460. Aviation) Aviation Handbook. by Edward P. Warner, 1931, New York, McGraw-Hill Book Co. 7958-7961	
M 六三〇 辭書—外國語	字源 箭野道明著 昭和七 東京 字源刊行會	七三三		
M 六三〇 辭書—外國語	增訂 詳解漢和太字典 服部宇吉、小柳司氣太共著 昭和七 東京 富山房	七三三		
M 六三〇 辭書—外國語	模佛和大辭典 廣瀬哲士外九名共編 昭和七 東京 白水社	七三三		

0566

<p>The Navigation of Aircraft. by Logan C. Ramsey, 1929, New York, The Ronald Press Co. 7955</p> <p>Aerial Navigation and Meteorology. by Lewis A. Yancey, 1929, New York, The Moeman W. Henley Publishing Co. 7976</p> <p>Applied Aerial Photography. by Ashley C. McKinley, 1929, New York, John Wiley & Sons. 7977</p> <p>Parachut. by Charles J. V. Murphy, 1930, New York, G. P. Putnam's Sons. 7978</p> <p>(B420. Diesel Engine) Diesel Power Plant Handbook. by Julius Kufner, 1930, New York, Diesel Power. 7981</p> <p>(B450. Aeroplane Engine) Carburettor Hand Book. by Ernst W. Knott, 1925, London, Sir Isaac Pitman & Sons. 7957</p> <p>A Text-Book on Gas, Oil, and Air Engines. by Bryan Donkin, 1911, London, Charles Griffin & Co. 7980</p> <p>(D620. Biography-Britain) Earl Beatty. Admiral of the Fleet. by Geoffrey Pawson, London, Jarrolds. 7985</p> <p>(E020. Diplomacy-General) Europe & China. A Survey of their Relations</p>	<p>from the Earliest Times to 1800. G. F. Hudson, 1931, London, Edward Arnold & Co. 7944</p> <p>Far Eastern International Relations, by Hosea Ballou Morse & Harley Farnsworth MacNair, 1931 Boston, Houghton Mifflin Co. 7945</p> <p>(E021. Diplomacy-America) Survey of American Foreign Relation. by Charles P. Howland, 1931, New Haven Yale University Press. 7947</p> <p>(E220. Nation's Problem-General) The Challenge of the East. by Sherwood Eddy, 1931, New York, Farrar & Rinehart. 7943</p> <p>(E226. Nation's Problem-Japan) The Mukden Mandate. Acts and Aims in Manchuria. by John N. Penlington, 1932, Tokyo, Maruzen Co. 7941</p> <p>Russia and the Soviet Union in the Far East. by Victor A. Vakhontoff, 1931, New York, Coward-McCann 7942</p> <p>(H010. Industrial Problem) The World of Labour. by G. D. H. Cole, 1926, London, Macmillan & Co. 7996</p>
---	---

0567

The Social Aspects of Rationalisation. 1931, Geneva, P. S. King & Son.	7998	Kleinm, 1930, Chicago, The Goodheart-Wilcox Co.	7956
The Evolution of Industrial Organization. by R. F. Shilds, 1930, London, Sir Isaac Pitman & Sons.	8003	Airplane Design. Aerodynamics. by Edward P. Warner, 1931, New York, McGraw-Hill Book Co.	7962-7964 & 7983, 7984
Welfare Work in Industry. by Eleanor F. Kelly, 1925, London, Sir Isaac Pitman & Sons.	8004	Engineering Aerodynamics. by Walter S. Diehl, 1928, New York, The Ronald Press Co.	7972
(H130. Industry-General) Industrial Evolution. by N. B. S. Gras, 1930, London, Oxford University Press.	7997	Applied Aerodynamics. by Leonard Bainslow, 1920, London, Longmans, Green & Co.	7979
(H120. Commerce) The American Tariff and Oriental Trade. by Philip G. Wright, 1931, Chicago, The University of Chicago Press.	7946	(J215. Physics-Fluids) The Mechanical Properties of Fluids. by C. V. Druisdale, 1925, London, Blake & Son.	7993
(H220. Year Books) Armament Year Book 1928-29. 1929, Geneva, League of Nation.	7986	(J218. Physics-Sound) Sound Waves and their Uses. by Alexander Wood, 1931, London, Blake & Son.	7992
Jane's Fighting Ships 1931. Oscar Parkes, 1932, London, Sampson Low Munston & Co.	7991	(J300. Engineering-General) Engineering Materials. Vol. I. II. III. by Arthur W. Judge, 1930-32, London, Sir Isaac Pitman & Sons.	7965
(I131. Europe) Le-Graevenhage the Hague, Mouton & Co.	7949	Engineering Materials. Vol. II. by Arthur W. Judge, 1932, London, Sir Isaac Pitman & Sons.	7966, 8001, 8002
(J212. Physics-Aerodynamics) Simplified Aerodynamics. by Alexander		Hydraulic Laboratory Practice. by John	

0568

<p>R. Freeman, 1929, New York, The American Society of Mechanical Engineers. 7973 & 7974</p> <p>(J310. Mechanical Engineering-General) Vacuum Practice. by L. Dummer, tr. by J. H. Smith, 1926, London, G. Bell and Sons. 7950 The Working of Aluminium. by Edgar T. Panton, 1927, London, Chapman & Hall. 7953 Friction Clutches. by R. Waring-Brown, 1924 London, Sir Isaac Pitman & Sons. 8005 Handbook on Ball and Roller Bearings. by A. W. Macentlay, 1929, London, Sir Isaac Pitman & Sons. 8006</p> <p>(J311. Mechanical Engineering-Aircraft) An Introduction to Aeronautical Engineering. Vol. II. Structure. by J. D. Haddon, 1931, London, Gale Polden. 7954 Hand book of Aeronautics. 1931, London, Gale & Polden. 7967-7969 Aircraft Propeller Design. by Fred E. Volk, 1930, New York, McGraw-Hill Book Co. 7994 Metal Aircraft Construction. by M. Langley, 1932, London, Gale & Polden. 8000</p>	<p>(J314. Mechanical Engineering-Engine) The Balancing of Oil Engines, by W. Ker Wilson, 1929, London, Charles Griffin & Co. 7951</p> <p>(J322. Electrical Engineering-Communication) Aircraft Radio. by Myron F. Eddy, 1931, New York, The Ronald Press Co. 7970 & 7971</p> <p>(J331. Chemical Engineering-Metals) The Metallurgy of the Common Metals. by Leonard S. Austin, 1926, New York, John Wiley & Sons. 7952 The Metallurgy of Aluminium and Aluminium Alloys. by Robert J. Anderson, 1925, New York, Henry Carey Baird & Co. 7975 Stainless Iron and Steel. by J. H. G. Monypenny, 1931, London, Chapman & Hall. 7999</p> <p>(M540. Dictionary-Language) Milhouse & Bracciforti's English and Italian Pronouncing and Explanatory Dictionary. by Francesco Bracciforti, 1925, Milan, Industrie Grafiche Arnoldo Nicola & Co. 7982</p> <p>(I300. Maps & Atlas) Illustrated Historical Map of Shanghai.</p>
---	---

0569

<p>by V. V. Koralsky, 1932?, Shanghai, Shanghai Municipal Council Philips' International Atlas. by George Philip, 1931, London, George Philip & Son. A20S 2. DEUTSCHE BÜCHER</p> <p>(X200. Geschichte) Der Weltkrieg 1914 bis 1918. Kriegsrüstung und Kriegswirtschaft. 1930, Berlin, E. S. Mittler & Sohn. Anlagen zum Ersten Band. Erster Band. 1851 1852</p> <p>(X600. Die Wissenschaft) Aerodynamik des Fluges. von Harry Schmidt, 1929, Berlin, Walter de Gruyter & Co. 1853 Handbuch der Flugzeugkunde. Band VIII. Flugzeuginstrumente. von Dr. Kunt Bonnewitz, 1922, Berlin. Richard Carl Schmidt & Co. 1854</p> <p>3. LIBRES ERANCAIS. (Y000. Science Militaires) Le Danger Aerien et l'avenir du Pays. par Vanthier, 1930, Paris, Berger-Levrault. 1407</p> <p>(Y100. Aéronautique) Cours. D'aéronautique. par Allard Emile.,</p>	<p>1932, Paris, Dunod. 1403, 1405 & 1406 Cinqième Congrès International de la Navigation Aérienne. 1931, La Haye, Martinus Nijhoff. Tome I. 1408 Tome II. 1409</p> <p>(Y400. Statistique) Bulletin de l'Institut International de Statistique. Tome XXV-2eme Livraison. 1931, Tokio, L'Institut International de Statistique. 1404</p> <p>(Y500. Géographie) Nouvel Atlas Larousse. par Léon Abensour., 1924 Paris, Librairie Larousse. 1410 Japon et Mandchourie. par Georges Bonneau, 1932 Osaka, Osaka Taisi Koizai Rommei. 1411 & 1412 4. Other Countries. (Z300. Italiani) Milhanse-Bracciforti Dizionario Italiano-Inglese. by Francesco Bracciforti, 1924, Milano, Industrie Grafiche Amedeo Nicola & Co. 215</p>
---	--

0570

海軍公報

第千五百八十八號

昭和七年五月二十四日(火)

海軍大臣官房

○辭令

海軍艦政本部勤務兼造兵監督助手

海軍技手 村井 藏吉

海軍艦政本部勤務兼吳海軍工廠附ヲ命ス

海軍艦政本部造兵監督助手

同 渡邊 祐一

海軍技術研究所附ヲ命ス

海軍技術研究所附同 飯田 正人

海軍艦政本部附兼造兵監督助手ヲ命ス(以上^{五〇}海軍艦政本部
軍省)

海軍技手 米元 竹平

主トシテ兼務應ニ於テ服務スヘシ(以上^{五〇}海軍艦政本部)

○雜款

○郵便物發送先
特務艦間官宛

六月 八 日迄ニ到達見込ノモノハ

山口縣栗野村

同 十 日迄ニ 同

下 關

同 十六 日迄ニ 同

山口縣栗野村

同 二十二 日迄ニ 同

舞 鶴

○事務所設置

驅逐艦曉艦裝員事務所ヲ佐世保海軍工廠内ニ設置シ本月十八日ヨリ事務ヲ開始セリ

○赴任

伊國在勤帝國大使館附武官海軍少佐大谷雄介來五月二十九日午前九時二十二分東京驛出發午後三時橫濱出港ノ宮崎丸ニテ赴任ノ豫定

海軍公報 第千五百八十八號

昭和七年五月二十四日

五〇七

0571

○艦船所在

△印ハ、ハ、ホ、フ
指定ヲ要セズ

○五月二十四日午前十時調

【横須賀】

日進▲、山城▲、五十鈴▲、駒橋、長門、赤城、未會、榛名、春日、愛宕、沼風、掃六

富士、尻矢、洲崎、鳴戸
(高雄)、(龍驤)

【長浦】

嚴島、桑、楨、樺、樺、▽野風、神風、波風、▽羽風、太刀風、帆風、秋風、▽朝風、春風、松風、旗風、▽狹霧

呂二〇、呂二一、呂二二、▽呂五五、呂五四、呂五六、▽呂五九、呂五七、呂五八、▽伊二四、伊二三、▽掃五、掃一、掃二、掃三、掃四

【浦賀】(雷)

扶桑▲、比叡、加吉、矢矧、古鷹、鬼怒、平戸、韓崎、勝力、白鷹、▽日向、伊勢、▽那珂、阿武隈、▽妙高、那智、▽神通、▽長鯨、江風、谷風、天津風、時津風、磯風、濱風、▽早苗、若竹、吳竹、早蕨、▽白雪、初雪

深雪、▽叢雲、薄雲、白雲、▽敷波、綾波、浦波、▽東雲、吹雪、磯波、呂一四、呂一五、呂一六、呂一七、呂一八、呂一九、▽呂五一、呂五三、▽伊二一、伊二二、▽伊五二、伊五一、▽伊五七、伊五六、伊五八、▽伊五五、伊五三、伊五四、掃七、掃八、掃九、掃一〇、劍崎、石廊、攝津、朝日、間宮、伊六五、(八重山)

【大坂】(電)

【神戸】(摩耶)、(伊六七)、(伊五)

【笠岡】大井

【舞鶴】吾妻、▽夕顔、葵、菊、呂三一

【佐世保】

名取▲、陸奥、衣笠、長良、川内、青葉、霧島、山良、▽迅鯨、加賀、足柄、羽黒、龍田、▽夕張、▽夕風、朝風、追風、疾風、▽栗、楡、柿、梅、▽草月、文月、長月、水無月、▽三日月、菊月、望月、夕月、▽彌生、如月、睦月、卯月、呂二三、呂二四、呂二五、▽呂六四、

海軍公報 第千五百八十八號 昭和七年五月二十四日

五〇九

0572

【長】 呂六三、呂六八、呂三〇、呂二九、
 呂三二、呂六〇、呂六一、呂六二、
 呂六七、呂六五、呂六六、呂六四、
 伊六一、伊六二、伊六三、伊五九、
 伊六〇
 敷島▲、知床、佐多、鶴見、能登呂、隠戸
 (伊六六)、(曉)
 【馬】 嗟峨
 梨、竹
 【鎮】 八雲
 【大】 八雲
 【旅】 球磨
 【嶗】 球磨
 【上海】 出雲、安宅、熱海、二見、常磐
 檜、檜、柳、桃、藤、薄
 【吳】 萩、葛
 【鎮】 堅田
 【南】 對馬
 【燕】 浦風
 【九】 宇治、勢多
 【大】 陰田
 【漢】 天龍、鳥羽
 【長】 伏見
 【宜】 保津、比良

【馬】 尾、菱
 【厦】 門、北上
 【油】 頭、董
 【廣】 東、樞
 【シドニー】 淺間、磐手
 【作業地】 淀
 島風、灘風、沙風、夕風
 大泊、膠州
 【航海中】
 呂二七、呂二六、呂二八 (十九日宮島發—吳へ)
 野島 (二十一日橫須賀發—佐世保へ)
 漣 (二十二日舞鶴發—鳥羽へ)
 襟裳 (二十二日橫須賀發—吳へ)
 神威 (二十二日佐世保發—橫須賀へ)
 青島 (二十二日佐世保發—馬公へ)
 室戸 (二十二日佐世保發—橫須賀へ)
 金剛、鳳翔、沖風、峯風、矢風、澤風、伊二、
 伊一、伊四、伊三 (二十三日橫須賀發—油谷灣へ)
 多摩 (二十三日長崎洞發—舞鶴へ)
 湖、曙、朧、朝霧、夕霧、天霧 (二十三日橫須
 賀發—徳山へ)
 芙蓉、朝顔 (二十三日青島發—旅順へ)
 早鞆 (二十三日佐世保發—旅順へ)

(滯内限一頁、同號外七頁)

0573